

化学の目で見る身近な最先端科学と技術

本講座は、最新医薬品や液晶、電池などの最先端技術など、みなさんが一度は聞いたことがある身近な生活に関連した最先端の科学や技術が、どのように実現されているのかを化学の目から読み解こうというものです。液晶をはじめとした、**ディスプレイのしくみや次世代メモリー材料**は？
「がんにならないための生活習慣」ってどういう意味？携帯電話やハイブリット自動車で使われる**リチウムイオン電池**の中身を知りたい！など、生活に関連したテーマをとりあげて、専門家がわかりやすく講義します。

1. 受講対象者 : 市民一般の方々
2. 場 所 : 佐賀大学工学部9号館 6階セミナー室
3. 実施日時・内容 : 全3回 (いずれも13:00~14:30)

第1回 11月15日(土) 講師:竹下道範 准教授(佐賀大学大学院工学系研究科先端融合工学専攻)

私たちの回りには、テレビやパソコン、携帯電話などディスプレイがあふれかえっています。そこで、これらのディスプレイに使われている材料とそのしくみについて解説します。一方、光を使った次世代メモリー材料と分子機械について実験を交えながら、説明致します。



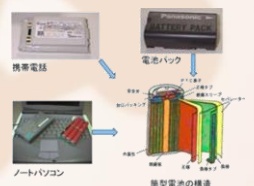
第2回 11月22日(土) 講師:兒玉浩明 教授(佐賀大学大学院工学系研究科循環物質化学専攻)



最近よく耳にする「活性酸素」、生命に欠かすことのできない酸素が変化した「活性酸素」は、生活習慣病やがんなど深刻な現代病、さらには老化にも関与すると言われています。生体物質と「活性酸素」の関わりから、「ガンを防ぐための生活習慣」の仕組みを考えていきましょう。

第3回 11月29日(土) 講師:野口英行 教授(佐賀大学大学院工学系研究科先端融合工学専攻)

リチウムイオン電池は日本発の技術で1991年市場化されました。携帯電話、ノートパソコンなど我々の生活に欠かせない必需品に電気を供給する役割を担っています。現在は電池を大型化し、電気自動車を視野にいれた実用化研究も進められています。講義では、発電原理やこの電池の特徴からなぜ社会に受け入れられたかを解説します。



6. 定 員 : 50名程度

7. 受 講 料 : 無料

8. 問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学大学院工学系研究科循環物質化学専攻 鯉川 雅之
TEL:0952-28-8549 e-mail:koikawa@cc.saga-u.ac.jp

9. 申し込み先

受講希望者は、以下のところへ電話、FAX または e-mail にて申し込み下さい。

〒840-8502 佐賀大学本庄町1番地 佐賀大学総務部総務課宛

電話:0952-28-8113 FAX:0952-28-8118/e-mail: e-mail:soumux3@mail.admin.saga-u.ac.jp

○随時受け付けておりますが、定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込み下さい。